

科目名 Course Name	スクールソーシャルワーク論 I School Social work I			ナンバリング No.	I3-006		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-ラーニング で対応。または栄養棟 3F研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP3,DP4						
授業の概要と到達目標	<p>【授業の概要】</p> <p>本講では、教育現場における児童生徒の抱えている課題や問題を理解するとともに、スクールソーシャルワーカーの必要性について学ぶ。また、スクールソーシャルワークの発展過程と概要を理解し、制度的位置づけと今日的課題について考える。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <p>①今日の学校教育現場にスクールソーシャルワーカーを導入する意義とその必要性を説明できるようにする。</p> <p>②学校ソーシャルワークの発展過程を説明できるようにする。</p> <p>③海外のスクールソーシャルワーカーの役割と活動を確認する。</p>						
授業の方法	テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とするが、理解を深めるため、グループワークやディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料とリアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	スクールソーシャルワークが活躍する現場、その必要性について説明できる。					
	L03	海外、日本におけるスクールソーシャルワーカーの発展過程と課題について説明できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	教科書:「スクール[学校]ソーシャルワーク論」社団法人日本社会福祉士養成校協会監修/中央法規						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求められることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。		30		
レポート/作品	外部講師の講演を聞き、感想レポートを作成する。評価 S は講演の概要や何を学んだのかを明確にしていること。提出要領が遵守されていること。			10	
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。			60	
その他					
合計			30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等)。
	事前・事後学習	事前:教科書を購入し、目次を閲覧しておく 事後:シラバスを再度読んでおく
2	授業内容	学校から見る問題行動
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
3	授業内容	家庭の状況
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
4	授業内容	子どもの貧困
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
5	授業内容	子どもの発達
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
6	授業内容	子どもにかかわる地域の機関
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
7	授業内容	スクールソーシャルワークの実際 外部講師:馬籠清貴(大田原市スクールソーシャルワーカー 社会福祉士)
	事前・事後学習	事前:大田原市について、事前に調べておく。 事後:感想レポートの作成。
8	授業内容	マイリティの子どもの実態、教員の実態
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
9	授業内容	スクール(学校)ソーシャルワークとは
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
10	授業内容	スクール(学校)ソーシャルワークへの期待
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
11	授業内容	スクール(学校)ソーシャルワークの価値・倫理(人権と正義)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:講演感想レポートを作成する。
12	授業内容	アメリカにおけるスクールソーシャルワークの沿革
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
13	授業内容	日本におけるスクール(学校)ソーシャルワークの展開
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
14	授業内容	スクールソーシャルワーク活用事業
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
15	授業内容	前期のまとめ
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理し、見直しをしておく 事後:試験勉強